

2022年11月15日 神戸国際大学キリスト教センター通信 第71号

自分では選べない「命」

キリスト教センター長 ミカエル 藤倉 哲哉

みなさんは自分が生まれてきてよかったと思いますか。毎日の生活に満足しているのでしょうか。よく「日本に生まれてよかった」という声を聞きます。夜でも安全に歩ける、町もゴミがなくてきれい、ご飯もおいしい、どこでも水道の水が飲める、四季があって景色も美しい…。もし、異議があるとすれば「英語圏に生まれていれば英語の勉強で苦労しなくて済んだのに」ということくらいかも知れません。

では「生まれる国を日本に選んでよかった」という人はいるのでしょうか。そのようなことはあり得ませんね。私たちは生まれることに関しては、自分で決定する、選択することができないのです。自分では生まれる時代も選べない、生まれる国も選べない、そして親も選べない。税金を取られない国に生まれたかった、資産家の裕福な家庭に生まれたかったと思っても、それは叶わないこと、そもそも生まれようと思って生まれてきた人間などどこにもいないのです。

地球に生命が誕生して、私たち人間が生きていることは奇跡だといえます。自分で生まれることを選んでいないので、誰か作ったのかはともかく、私たちは自分の意思とは関係なく生まれてきました。つまり命は与えられたものとしか言いようがなく、まさに私たちは「生かされている」のです。

「何も生産・貢献できないのなら生きていても仕方がない」「この社会で生きる意味が見いだせない」という人がいますが、生きていくことに理由は必要ありません。「なぜ人を殺してはいけないのか」という問いには「生きているから」「生まれてきたから」としか答えようがないのです。「なぜ自殺・自死はいけないのか」も同じで、与えられた命ゆえに、自分を含めた人間が手をかけてはいけないからです。

生きるのがつらい、しんどいと感じている人に「もっと頑張れ」と鞭打つつもりはありませんが、「厳しいだろうな」と思っても希望を捨てないことは大切です。信じること、祈ること、良い方向に思うことでかなりの問題はうまく解決できるはずです。私たちは「生かされている」ことを覚えつつ「生きていく」ことで人生について考えてみませんか。



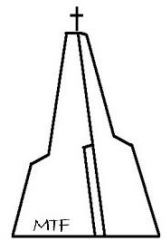
一口メモ 人類は土曜日に生まれた

旧約聖書の創世記には神が6日にわたって天地を創造し、7日目に安息日を迎えたという物語が記されています。第1日：神は天と地＝宇宙と地球を作り、暗闇に光を作って昼と夜ができた。第2日：神は天＝空を作られた。第3日：神は大地と海を作り、植物を生えさせた。第4日：神は太陽と月と星を作られた。第5日：神は魚と鳥を作られた。第6日：神は獣と家畜を作り、神に似せた人を作られた。安息日は日曜なので人類(アダム)の誕生は土曜日となります。

ところで、地球が誕生したのは46億年前とされていますが、米国では進化論を否定する人が4割もいて、州や学校によっては科学の授業で進化論を教えることが禁止されているところもあります。そういえば地動説を唱えたガリレオがカトリック教会に断罪されたという話も世界史で学んだって…。



ミケランジェロ作：アダムの誕生



神戸国際大学
キリスト教センター
諸聖徒礼拝堂

ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、
わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。
またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。
明日を恐れるすべての人々に、
あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。
平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって
み旨に適う決断へと導かれますように。
そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な
子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。
平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン。



ジャスティン・ウェルビー大主教
スティーブン・コットレル大主教

A Prayer for Ukraine

God of peace and justice,
we pray for the people of Ukraine today.
We pray for peace and the laying down of weapons.
We pray for all those who fear for tomorrow,
that your Spirit of comfort would draw near to them.
We pray for those with power over war or peace,
for wisdom, discernment and compassion to guide their decisions.
Above all, we pray for all your precious children, at risk and in fear,
that you would hold and protect them.
We pray in the name of Jesus, the Prince of Peace.
Amen.

Archbishop Justin Welby
Archbishop Stephen Cottrell



ウクライナのための祈り (カード) 日本聖公会東京教区のページへ

禁複製転載 (C) St.Michael's KIU_MTF
神戸国際大学キリスト教センター

